

■美濃部亮吉 経済学者、政治家。東京都知事に転身して爆発的人気を呼び、全国革新自治体行政をリードしたが、挫折。

みのべりょうきち

日露戦争始・1904＝ 東京で、\_法学者美濃部達吉の長男に生まれる。母は菊池大麓の娘多美。

日露戦争終・1905＝ 1歳：

明治天皇没・1912＝ 8歳：

大正政変・・・1913＝ 9歳：

民本主義・・・1916＝12歳：東京高等師範学校附属小学校卒業。

原敬首相暗殺1921＝17歳：東京高等師範学校附属中学校卒業。

水平社結成・1922＝18歳：

関東大震災・1923＝19歳：第二高等学校を卒業して、\_東京帝国大学経済学部に進み、

\_マルクス経済学を学んで、

金融恐慌・・・1927＝23歳：\_卒業。同校の助手となが、経済学部の派閥争いのため昇進できず、

世界恐慌・・・1929＝25歳：農学部講師となり、

満州事変・・・1931＝27歳：有沢広巳らと阿部勇事務所での研究に従事し、「カルテル・トラスト・コンツェルン」下巻を執筆。

五一五事件・1932＝28歳：\_ドイツに留学、

帝人疑獄事件1934＝30歳：\_帰国して、

芥川直木賞始1935＝31歳：\_法政大学教授となる。

日中戦争始・1937＝33歳：

健保+総動員 1938＝34歳：<人民戦線(教授グループ)事件>で、大内兵衛・有沢広巳らとともに検挙され、退職。

第二次大戦始1939＝35歳：信越化学工業の嘱託。

大政翼賛会・1940＝36歳：

日米開戦・・・1941＝37歳：

一・二審とも無罪となり、

敗戦・・・1945＝41歳：<敗戦>を迎える。翌年にかけて{毎日新聞}論説室嘱託、

新憲法公布・1946＝42歳：\_持株会社整理委員会委員となり、大内のもとで総理府統計委員会委員にも就任し、事務局長を兼任。

三大事件・・・1949＝45歳：\_持株会社整理委員会委員を辞任し、東京教育大学教授を兼任。

朝鮮戦争始・1950＝46歳：経済安定本部参与。

独立回復・・・1951＝47歳：\_総理府統計委員会の常任委員となり、

マーデー事件・1952＝48歳：\_事務局長に就任。行政管理庁統計基準部長に就任し、

この間、信濃毎日新聞社社長・衆議院議員・貴族院議員を務めた小坂順造の長女百合子(小坂善太郎・小坂徳三郎の姉)と結婚し、長男・次男・三男をもうけたが、離婚。再婚した後妻との間に長女をもうける。

インスラトレーメン・1958＝54歳：

美智子妃・・・1959＝55歳：\_辞任して、東京教育大学教授専任となる。

安保闘争・・・1960＝56歳：

\_NHKテレビ{やさしい経済教室}の解説者を務めて、全国的に顔が知られていたこともあり、

美濃部都知事1967＝63歳：\*恩師の大内兵衛の懇請で、社会党、共産党、各種革新団体の支持を得て東京都知事に立馬して当選。

霞ヶ関ビル・1968＝64歳：\_東京都公害研究所を設置し、政府の反対を抑えて朝鮮大学校を認可、東京電力と公害防止協定を締結、

全共闘ビーク・1969＝65歳：\_老人医療無料化を実施し、政府に先駆けて公害防止条例を制定するなどして、都民の支持を得、\_平和憲法を都政に生かすことと、都民との"対話"により地方自治体を住民に近づけることに努め、都職員には'寝た子を起こせ'と、因襲を破り、すべてまず都民の立場から考えるよう説いた。

ドルショック・・・1971＝67歳：\*再選時には、"都民参加""ストップ=ザ=サトウ"を標榜して圧勝、

\_女性局長を初採用・都営ギャンブルの全廃・無料老人パスの導入など、福祉政策の充実に努め、財政面でも大企業適正課税の実現を図り、全国自治体さらに国政に大きな影響を与え、革新自治体行政をリード。

石油ショック1973＝69歳：

クランプール事件1975＝71歳：\*しかし、三選目は同和問題でこじれ、石原慎太郎に辛勝したものの、

田中角栄逮捕1976＝72歳：

\_国の起債制限などによる財政難、同支持母体である{明るい革新都政をつくる会}運営にも支障をきたし、

革新大敗北・1979＝75歳：\*惨澹たる幕引き'と所信表明して、都知事を退任した。

貿易摩擦問題1980＝76歳：\_参議院議員に当選、

各地の公害対策運動支援に努めたが、

中曽根内閣・1982＝78歳：

・・・・・・1984＝80歳：\_任期中に没した。

「この人どんな人」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、インターネット、